

8つのまちづくり 1 誰もが安全・安心に暮らせるまち

区民の命と暮らしを守るため、ソフトとハードの両面から「安全・安心に暮らせるまちづくり」に取り組みます。避難時に支援が必要な方にも配慮した災害対策、繁華街や商店街の防犯パトロールの強化などによる防犯対策を推進します。

また、区内の約4割を占める木造住宅密集地域の不燃化・耐震化を進めます。

「安心な暮らし」の最も基本となる「健康」では、ワクチン接種や検診支援による「未病」や「予防」への対策を進めます。

防災

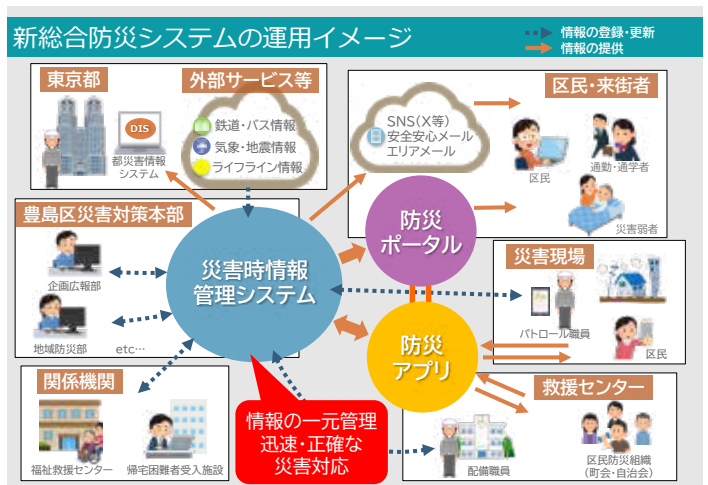
■ 総合防災システムの更新

新規

災害情報を確実に集約・伝達するための「総合防災システム」を更新します。情報の自動収集から整理・判断・発信までを一元管理できるシステムに更新することで、災害時の迅速・的確な対応をさらに強化します。

■ 災害時要配慮者対策の推進

令和5年度より、大学との共同研究を開始し、高田地域での個別避難計画のモデル作成を進めてきました。令和6年度は、個別避難計画の作成を他の地域にも広げるほか、要援護者名簿の管理・更新、安否確認を迅速に行うための「無事です」シールを作成するなど、配慮が必要な方への対策をさらに強化します。



『木密地域』を『災害に強い街』へと再生

■ 居住環境の総合整備

主要生活道路などの幅員や公園・広場の整備を進めるため、必要な用地を取得し、地域の防災性を高めるとともに住環境を改善します。

■ 不燃化特区の推進

東京都の「不燃化特区制度」を活用し、老朽木造住宅などの除却や建替に対する助成を行い、地域の不燃化を促進します。

不燃化特区・都市防災不燃化促進事業 助成件数（令和4年度末）	区内の不燃領域率 （令和4年度末）
110件	65.6%

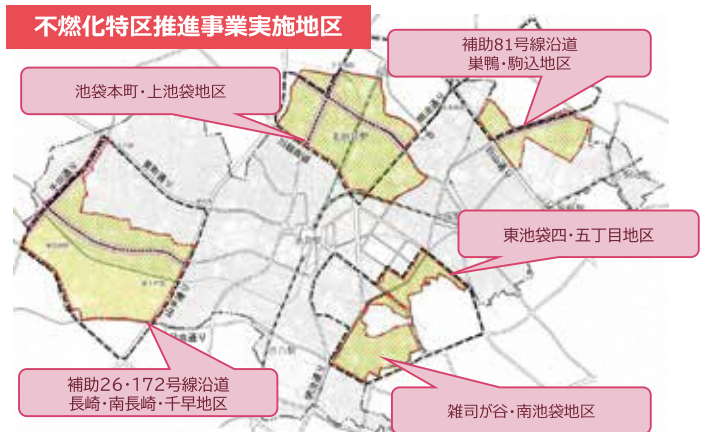
■ 新耐震木造住宅の耐震診断及び耐震改修の助成

拡充

旧耐震基準の住宅への助成制度に加え、新耐震基準の木造住宅への助成を開始します。耐震化を促進することで、区内の人的・建物被害を更に低減します。



▲東池袋五丁目に新たな公園を整備



防犯

■ 安全・安心パトロール

区内全域の安全と秩序を保つため、安全・安心パトロールを推進します。

青色防犯灯付きパトロール車によるパトロールの実施をはじめ、客引き行為者に対する注意や、資源ごみ持ち去り対策、通学路警戒を複合的に行うことにより、より効果的な安全・安心対策を推進します。



▲パトロールの様子

■ 幼稚園・保育所等における性被害防止対策

新規

幼稚園・保育所などにおける性被害防止対策のため、パーテーションの設置による園児のプライバシー保護や記録のためのカメラ設置などを支援します。
(1施設10万円まで)



健康

■ ワクチン接種助成の充実

新規

拡充

子宮頸がん予防（HPV）ワクチンの接種率向上に努めるとともに、男性がHPVワクチンを任意で接種する場合についても全額を助成し、HPV感染リスクを軽減します。
令和5年6月より開始した带状疱疹ワクチンの接種費用助成を引き続き実施します。

【HPVワクチン】→男性にも全額助成開始【新規】

対象者：小6～高校1年相当の男女
助成内容：全額助成（3回分）

【带状疱疹ワクチン】

対象者：50歳以上の区民の方
助成内容：生ワクチン5,000円×1回 または
不活化ワクチン11,000円×2回



■ がん対策の充実

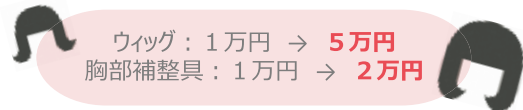
がんの早期発見・治療につなげるため、がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）や胃がんリスク評価、B型・C型肝炎ウイルス検査を無料で行います。

がんに関する知識の普及啓発のために、がん対策推進特別講演会や、民間団体と連携した小児・AYA世代のがん啓発イベントを行います。

■ がん患者のウィッグ・胸部補整具等購入費用助成

拡充

がんの治療に伴う、脱毛や乳房の切除などによる外見の変化をカバーする補整具などを購入した方の経済的負担を軽減するため、購入費用の助成上限額を増額します。



[R6新規・拡充事業]

防災

- ・ 拡充 帰宅困難者用備蓄物資の調達
- ・ 拡充 緊急医療救護所資器材の拡充
- ・ 新規 ペットの災害時対策
- ・ 拡充 豊島区安全・安心メールのSNS自動連携

防犯

- ・ 拡充 自転車用ヘルメットの購入補助

健康

- ・ 拡充 歯周病検診の対象者拡大
- ・ 新規 薬局における「涼みどころスポット」の設置